

これからのごみ処理を考える

循環型社会・ごみ減量化へ

現在では、ごみの3R運動

【Reduce (リデュース＝減らす)・Reuse (リユース＝再利用)・Recycle (リサイクル＝再資源化)】の意識が広まり、その実行が図られてきています。ごみの減量化は環境に優しく、二酸化炭素の発生が削減され地球温暖化抑制につながるといわれています。

また、循環型社会の形成が求められている中、焼却・埋立が主流であった処理システムから、可燃ごみから炭化物を製造したり、有機物などを堆肥化・飼料化するリサイクルへと変化してきました。もちろん、全てのごみをリサイクルすることは困難なため焼却施設も必要となりますが、各家庭や団体などがリサイクルに取り組むことにより、循環型社会が形成されていきます。

9月号広報げろ掲載の第1回では、下呂市のごみ処理事業の現状について紹介しました。今回は、国内での先進地事例について紹介し、リサイクルなどを推進する循環型社会について説明します。

(鳥取県三朝町)

人口7千人、年間宿泊者数37万人の三朝温泉を有するこの町では、2008年度から本格的に循環型社会を目指す事業を展開しており、旅館と調理センターで発生する生ごみを処理プラントで堆肥化し、地元農家へ提供しています。



写真提供・三朝温泉観光協会

日本の音風景百選の三朝川が流れる三朝温泉

す。農家はこの堆肥を利用して収穫した野菜を直売所などでも販売。また、飲食店や公共施設などから排出される廃食用油からバイオディーゼル燃料を精製して、旅館送迎用バスやごみ収集車などに使用しています。

(静岡県東伊豆町)

人口1万3千人、年間宿泊者数82万人、稲取温泉などがあるこの町では、生ごみをトウモロコシや米ぬかなどと混ぜ合わせ飼料化しています。この飼料が養鶏所の鶏に1日2回供給され、栄養満点の卵を生み出します。卵は各旅館などに還元され、宿泊客のお膳に出されます。

また、使用済みの割り箸を

回収し、紙へと再利用したり、風力発電も実施しており、エコな取り組みをしています。

(香川県三豊市)

人口6万7千人、瀬戸大橋に程近い海と山と豊かな田園地帯を有するこの町では、家庭や事業所から排出される可燃ごみを発酵させて、肥料と固形燃料にリサイクルする処理方式の導入を来年度から実施します。



三豊市のごみから製造した固形燃料

肥料は農家や公園へ、固形燃料は近隣の製紙工場などで使用される予定です。

密閉環境で発酵熱によってごみを炭化させるため、製造過程での廃水や悪臭、ごみを乾燥させる燃料費などの課題が克服できるということです。

このように、紹介した循環型社会の事例については、地域によりその方法は異なりますが、市民の皆さんにその目的と役割をご理解いただいたうえで運営していくことが大切です。

また、循環システムの方法についても地域の事情により、観光地が目指すものや、山村地域などで森林整備を目的とするものなど様々です。これから、下呂市においても循環型社会を進めるため、市民の皆さんの協力により、ごみの減量化に努めると共に地域にあった循環システムを構築していく必要があります。新しいクリーンセンター建設についても、効率的な施設を計画していきたいと考えています。

【環境部・環境施設課】

市政懇談会を開催します

「下呂市の未来を一緒に考えませんか」

昨年は、主に厳しくなる下呂市の財政状況や、地域力の強化について市民の皆さんと意見交換を行いました。今年度には「地域げんき未来塾」が開講し、各地域においてさらなる地域づくりへの動きが始まりました。

現在も多くの課題が山積する中、共通の問題意識を持って、一緒に課題に向き合っていくことが大切であると考えます。



【開催日程】※時間は19時30分からです。

11月6日(火) 馬瀬中央公民館
7日(水) きこりセンター
9日(金) 星雲会館
19日(月) 下呂市民会館
21日(水) 下原公民館

今年はさらに下呂市民が健康で安心できる暮らし、子育てしやすい環境、地域に根ざした産業の育成など未来に向けた下呂市づくりについて一緒に話しませんか。
多くの市民の皆さんのご参加をお願いします。
【経営管理部 秘書広報課】
☎24・2222(内線261)

英語スピーチコンテストを開催



最優秀賞の今井希香さん

10月12日、星雲会館にて「第8回下呂市英語スピーチコンテスト」を開催しました。

このコンテストは、中学生の英語力の向上と英語に対する理解と親しみを深め、自己表現力を育てることを目的に、今回で8回目の開催となります。市内の各中学校から選ばれた7名が出場しました。

発表者は、日常生活で感じたことや感銘を受けたことなどをジェスチャーを交えながら英語でスピーチしました。

内容や発音、話しぶりなどを基準に審査を行った結果、最優秀賞には「From Pensacola (ペンサコーラに行つて)」を発表した、竹原中学校3年生の今井希香さん(写真)が選ばれました。

そのほかの主な入賞者は次の皆さんです。(敬称略)

▽優秀賞 今井萌歌(萩原北中3年)▽優良賞 橋本諒子(金山中3年)、中川聡一郎(萩原南中3年)、田口芙優子(下呂中3年)、無笹直弥(馬瀬中3年)、岡部友幸(小坂中3年)▽ペンサコーラ市賞 田口芙優子(下呂中3年)▽ケチカン市賞 今井希香(竹原中3年)▽西フロリダ大学賞 橋本諒子(金山中3年)
【教育委員会・社会教育課】

赤い羽根共同募金運動

12月31日(月)まで

皆様のご協力をお願いします。

「出張セミナー・個別相談会キャラバン隊」in下呂

ニート状態の若者およびご家族の方の就労へのセミナー、個別相談会を開催します。(参加費無料・要予約)

◆時間 セミナー 13時30分～15時
個別相談会 15時15分～17時15分(1組50分)

◆場所 星雲会館 エイジレスルーム

◆セミナーテーマ「若者の現状と理解 情報・意見交換会」

講師：特定非営利活動法人 ICDS 理事長 深谷潤一

◇申込・問合先 岐阜県若者サポートステーション ☎058-216-0125

開催日
11/14(水)

★おめでとう (敬称略)

高齢者叙勲 瑞宝双光章
▽森川茂忠(金山町渡)